

令和6年度 鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進事業

「SDGs防災フェスティバル」

- 1 趣 旨 防災や減災に関する活動や、被災時の生活体験、災害時の応急対策活動の体験、弱者の視点からの災害対応、多様性への配慮、自助・共助・公助による生きる力を学ぶ機会を提供する。そして、これらの体験をとおして持続可能な開発のための教育（ESD）に寄与する。  
また、文部科学省「子供の体験活動推進宣言」（令和4年）の実現に向けて、官民が連携し、子供の体験の機会を提供する。
- 2 主 催 国立大隅青少年自然の家  
（企画・運営：鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会）
- 3 共 催 国立大学法人鹿屋体育大学
- 4 後 援 鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿屋市、鹿屋市教育委員会、垂水市、垂水市教育委員会、南日本新聞社、MBC南日本放送、鹿屋市社会福祉協議会
- 5 期 日 令和6年11月24日（日）
- 6 対 象 者 どなたでも（親子、防災関連従事者、防災や体験活動に興味・関心がある方）
- 7 募集定員 300人（来場者358人 関係者68人 計426人）
- 8 協力団体 大塚製薬株式会社、TOTO株式会社、シャボン玉石けん株式会社、株式会社サクラクレパス、ユクサおおすみ海の学校、セキスイハイム九州株式会社、鹿児島空港ビルディング株式会社、株式会社きたやま、株式会社志布志フーズ、カイケンコーポレーション株式会社、Citta yoga room、鹿屋衛生管理センター株式会社、Sanctuary aroma salon、有限会社森伊蔵酒造、KR（鹿屋レスキュー）株式会社ランディ、鹿屋市役所安全安心課・健康増進課、大海酒造株式会社、株式会社桜島、特定非営利活動法人ローズリングかのや、鹿児島トヨペット株式会社、株式会社ベリーののうち、鹿屋市社会福祉協議会こども食堂、鹿児島フライングディスク・クラブ、就労継続支援型事業所ココハウス、宮崎県御池青少年自然の家、特定非営利活動法人くすの木自然館、鹿児島工業高等専門学校、株式会社KAGO食スポーツ、合同会社シスルナベース絵本専門士かつぱときりんのつの文庫<sup>3</sup>、喜入マナビバプロジェクトつわぶき、有限会社泰夫水産、特定非営利活動法人グランシーハーツ、おおすみ半島スマートエネルギー株式会社、鹿屋市漁業協同組合、垂水市漁業協同組合

9 日 程

内容	10:00～	11:00～	12:00～	13:00～	14:00～	15:00
体験・展示	各フロア・プレイホール		昼食・休憩	各フロア・プレイホール		終 了
防災講演会				第1学習室		
炊き出し実演	学習棟前		昼食・休憩	学習棟前		

## 8 事業運営の配慮

- 雨天時でも実施できるように、出展ブースのほとんどを屋内に配置した。
- 前日を会場設営日とし、協力団体の荷物搬入と前泊を可能にした。
- 学習棟への回遊性を確保するため、協賛品のプレゼント場所とした。

## 9 参加者・協力団体の感想

- ◇ 娘が防災士に興味があり、本人が是非行きたいと言うので参加した。（参加者）
- ◇ 町内会で自主防災活動が重要になっているので、よい情報収集の機会になった。（参加者）
- ◇ 自分たちの活動を知ってもらえる機会になり、大変よかった。（協力団体）
- ◇ 色々な角度からのSDGsや防災を知ることができ、私たちも楽しませてもらった。（協力団体）

## 10 成果と課題（○成果 ●課題）

- 新規事業として多くの団体から出展協力や協賛をいただいた。（34ブース出展、抽選会景品提供等）
- 施設利用団体（KR、鹿屋体育大）や教育事業「地域探究プログラム」の活動グループ（喜入の高校生）からの出展協力が得られた。
- 当日は各地でイベントが多く実施されていたため、次年度計画の際は開催日の設定に検討が必要。
- 防災講演会は、次年度計画の際は別日での実施や体験活動のみに特化するなどの検討が必要。

